



モユク★カムイ 87

NO.

●モユク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。

October 2015

あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMAZOO NEWS



もくじ

ぼくは、動物大使

その48 古くからのパートナー イヌ.....12

特集

天売猫がやってきました.....34

飼育研究レポート

「旭山動物園のあざら誌」～引っ越し編～.....5

動物園裏側紹介

～緑の下の力持ち「管理事務所」編～.....6

主な出来事・夜の動物園報告

編集後記・飼育動物数.....7

イヌ *Canis Lupus Familiaris*

イヌ

Canis lupus familiaris
食肉目(ネコ目) イヌ科

国際畜犬連盟で公認されているイヌの品種は343品種で、このうち日本では194品種が公認されている((一社)ジャパンケネルクラブ公認)。絶滅してしまった品種を含めると700~1000品種と言われている。たくさんの品種がいるのは、人間が牧羊犬や愛玩犬など様々な目的のために改良をしてきたため。

学名の意味は、オオカミから作られた家畜種という意味だが、オオカミとイヌの共通の祖先がいるなど諸説がある。いつ家畜化されたのかは1万5千年~13万5千年前と議論はあるが、イヌがもっとも最初に家畜化された動物であると



ぼくは動物 その48 古からの

大使



パートナー ~イヌ~

目 色は、青・黄の2色で見えていると言われている。暗い所ではわずかな光を感じとることができる人間より見える。

耳 人間よりもすぐれた聴力を持つ。品種によって、形や大きさ、垂れ下がった耳など違いがある。

鼻

人間よりもすぐれた嗅覚を持つ。鼻先はいつも湿っており、においをかぐのにとっても重要。

歯

大人になると42本あり、上下に鋭い犬歯が2本ずつある。エサはかみ切り、丸呑みをする。

舌

味を感じるほか、水を飲む時はスプーンのように使う。暑い時は、舌を出して体温を下げる役割もある。



尾

バランスの保持や、気持ちを表す時に使う。品種によって形や長さも異なる。

ゴールデンレトリバーのお仕事

「レトリバー」は、「回収する者(Retrie-ver)」という意味で、鳥猟犬として鳥の卵や猟師が撃った獲物を回収します。卵や獲物に傷をつけずにやさしくくわえて運ぶことができます。泳いで水辺に落ちた獲物を回収することもできます。

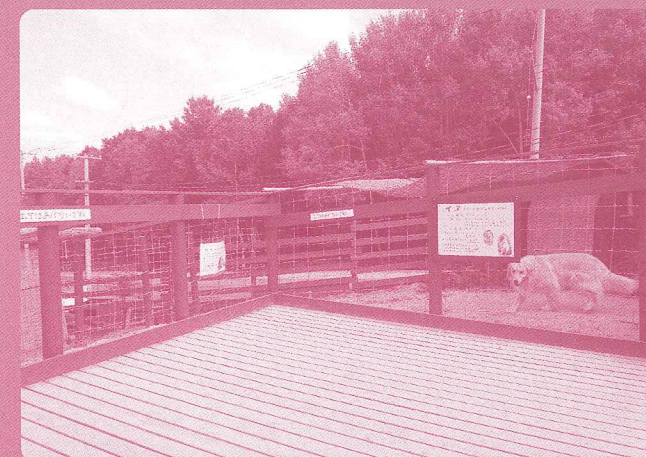
かわいいだけじゃない!

イヌを見ていると、そのかわいらしい、愛くるしい姿に人は癒やされます。しかし、イヌはそのかわいさだけでなく、品種によって、回収する、狩りをする、家畜を守るなど様々な能力を持っています。イヌを飼うということは、その能力を知ることがとても大切で、散歩もその品種の能力にあうようにしなくてははいけません。そして、一番大事なことは一度飼うと決めたら、そのイヌの最期の最期まで飼い続けることです。途中で投げ出すことは、飼い主としては絶対やってはいけないことです。イヌも家族の一員。そのことを決して忘れてはいけません。

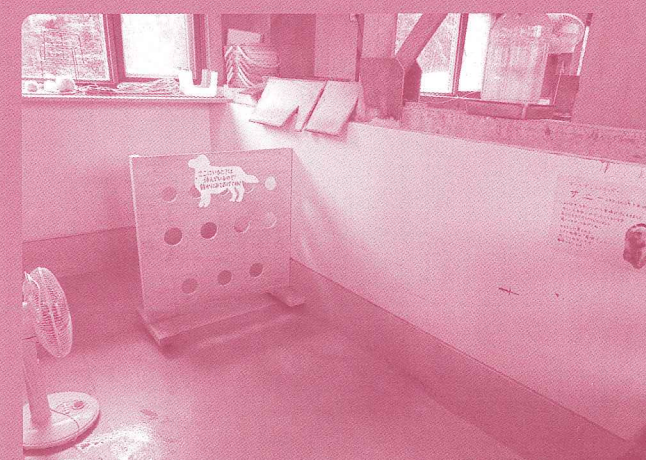
こども牧場 「サニー」の放飼場

「サニー」は、天気や気温などによって、外のドッグランか建物の中のどちらかで展示しています。

看板で展示場所を表示していますので確認してね!



外の放飼場(ドッグラン)



建物内の部屋

どちらでも元気に遊んでいます。お休みの時はそっと見守ってくださいね。

旭山動物園のイヌ (ゴールデンレトリバー)



サニー ♂3才
2012年1月 24日 生まれ

少しシャイですが、喜ぶときは体全体を使って表します。旭山動物園には2015年4月に来園しました。

天売猫がやってきました!

6月23日に羽幌町天売島で捕獲された猫2頭がこども牧場にやってきました。
今回の特集では猫がやってきた経緯と、動物園で飼育する理由について紹介します。

こども牧場にやってきた天売猫のチロル▶



天売島でのとりくみ

天売島では1992年からネコの捕獲・不妊手術を行い、営巣地への出入りを防ぐ対策(柵等)をしましたが、大きな成果は得られませんでした。そこで2012年に「天売島ネコ飼養条例」を制定し、飼い猫すべてに不妊手術とマイクロチップの埋め込みを行い、ノネコ・ノラネコの区別がつくようになりました。また、2014年秋からは羽幌町・環境省・北海道獣医師会・NPO法人等が「人と海鳥と猫が共生する天売島連絡協議会」を設置し、島内のノネコ・ノラネコの島外への搬出事業を始めました。島外へ搬出・不妊手術後に人への馴化のために飼育を行います(羽幌町海鳥センターや一般の預かりボランティアさん宅で)。馴化後の猫は譲渡会等で、新しい飼い主さんにもらわれていっています。

天売島って?

天売島

北海道の日本海側、羽幌港から西側約27km。周囲約12kmの島で約370人が暮らしています。

旭川

天売島の猫問題

近年、一部の海鳥の数が減ってきています。餌となる魚の減少や漁網による混獲などが原因となる一方で、ノネコ(人に依存していない猫)・ノラネコ(人に依存している猫)による影響が考えられています。ウミネコやウトウの直接の捕食や猫が海鳥の営巣地へ進入することによる繁殖の妨害が起こっています。

旭山動物園のとりくみ

旭山動物園では園内での写真展等で天売島の自然を紹介する取り組みを行っていたつながりから、天売猫の事業に協力することになりました。捕獲された猫を園内で飼育し、馴化の様子を来園者に見てもらっています。また、この展示を通して、天売島猫の問題やペットの飼育について伝えていきます。馴化した猫は羽幌町と協議して譲渡する計画です。

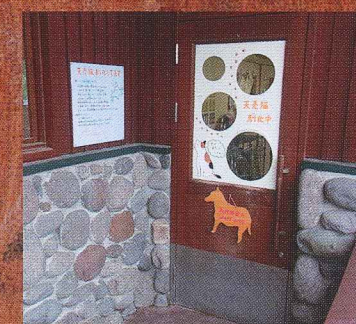
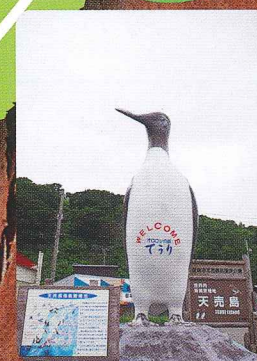
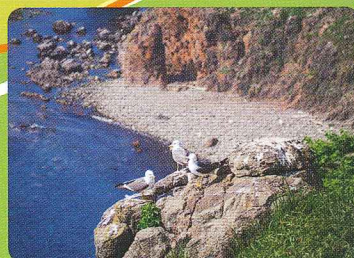
海鳥の楽園

夏期(3月から8月)に8種約100万羽の海鳥が繁殖のために島を訪れ「海鳥の楽園」となります。特に日本国内では天売島でのみ繁殖が確認されているウミガラス(別名「オロロン鳥」)や約40万ペア80万羽が繁殖するウトウなどが代表です。

海鳥繁殖地

海鳥繁殖地

人が暮らす地域



のぞき穴から覗いてみると…⇒

ケージに入った天売猫が馴化飼育中です

旭山動物園からのメッセージ

天売島での猫問題は決して海鳥を襲ってしまう悪者の猫を排除する取り組みではありません。厳しい冬の環境の島で暮らしている飼い主のいないノネコ・ノラネコたちにとっても、新しい飼い主の元での暮らしはきっと安心できるものだと思います。海鳥・猫・人が共生する天売島が実現するために協力をしていきます。

また、猫に限らず、自分のペットは責任を持って飼育する、動物に勝手な気持ちで餌をあげない、人と動物の共生する関係の実現のために旭山動物園としても活動を続けていきます。



ウツウ



ケイマフリ



ウミガラス



ウミスズメ

※写真提供:寺沢孝毅



飼育研究レポート

「旭山動物園の本ざら誌」～引っ越し編～



ラッコブームだった当時、来園者からこんな声が…「な～んだアザラシか…ラッコいないの！ラッコ！」と子どもの手を引き歩き去りました。たまたま通りかかった坂東飼育展示係長(当時)はそれを聞き、「ラッコがなんだ！アザラシだってすごいのに…」と思い、建設に至ったのが「あざらし館」です。

先号のひょうたんプールを取り壊し建設されます。なので、この場所からは一時避難です。引っ越しの手順は、板でアザラシを1頭ずつ囲み網の上まで誘導し、一気に包み込んで重機で持ち上げトラックに積みます。作業はサクサク進み、全頭無事に引っ越し完了！行き先は天敵、旧ホッキョクグマ舎プールです。食う、食われるといった関係の両者、すでにホッキョクグマは新居の「ほっきょくぐま館」へ引っ越し済みとはいえ、何となく残り香が漂うプールでアザラシたちに変化はないか？ちょっと心配しましたが、すぐに馴染みました。子育て上手の「ガル」はここでも出産、育児をしてくれました。引っ越しといえば「カムイ」というメスの個体は引っ越しの女王です。生まれたばかりのカムイは、海で衰弱していたところを釧路市動物園に保護され、その年に旭山へ。小さい隔離スペースで馴らし、ペンギン館へ。ペンギンとアザラシが同居していたんですが、カムイはペンギンプールに馴染めず、ペンギンの足を噛み始めてしまい同居断念。ひょうたんプールに移動しアザラシ群れに合流し現在に至ります。



つり上げてトラックに積み込む様子



あざらし館オープンに向け、私の準備といえばまず水への恐怖を取り払い「潜水士」という資格を取得すること。あざらし館では潜って掃除をしたり、水中で給餌をする計画でした。しかし私は泳げませんし何より水が怖いんです。市内のスイミングスクールに通い水を克服、何とか試験にも受かり旧ホッキョクグマ舎プールでアザラシがいる中、スキューバの練習をしました。

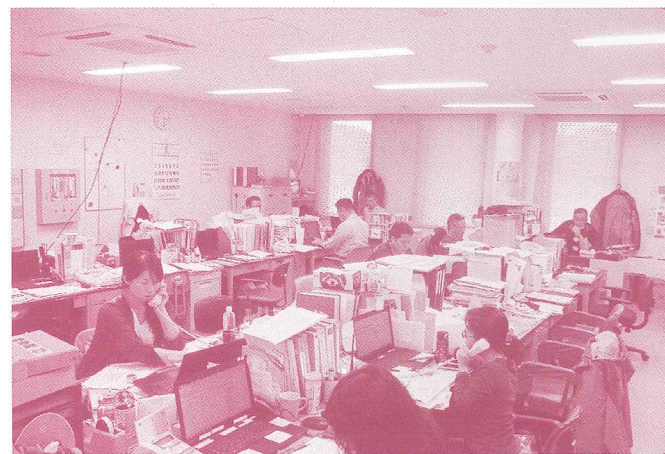
バタバタの準備期間も過ぎ、急ピッチで進められた「あざらし館」が平成16年6月、ついにオープンを迎えました。続きは次号、「あざらし館編」で…

(キリン担当・飼育担当主査 中田真一)



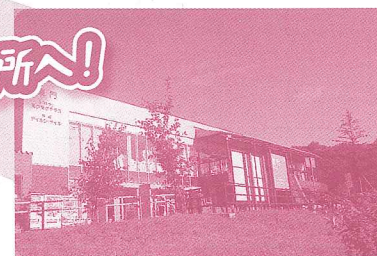
動物園裏側紹介

～緑の下のカ持ち「管理事務所」編～



東門に併設されている「管理事務所」。読者の皆さんが行く機会はほとんど無いと思いますが、動物の飼育以外の業務のほとんどをこなしているとても重要なところなんです。今回はその管理事務所がついにそのペールをぬぎます！

いざ管理事務所へ！
レッツゴー！



大きな2つのホワイトボードには緊急連絡先や職員の出勤状況、団体情報など溢れんばかりの情報量。

園長室もあります。でも園長はほとんどここには居ないようです…。大きなぬいぐるみが留守を守っています。



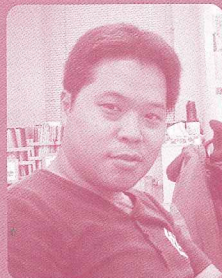
園内各施設の監視警報。ここで常にチェックして、何かあればすぐに駆けつけます！



開園や閉園時の音楽や園内アナウンスはここから放送。聞き取りやすいようにゆっくり丁寧に心がけています。



書庫には過去の貴重な資料がたくさん。なんと昭和のパンフレットも大事に取っていました！



管理事務所で働く広報担当の加藤さんがのメッセージ

管理事務所では30名ほどのスタッフが働いています。仕事の内容は施設の管理、園内の警備、広報、予算の執行、庶務、団体受付、園内アナウンスなど多岐にわたります。管理事務所働くスタッフは飼育スタッフが飼育業務に集中して良い展示やガイドが出来るように、また、来園者の方々には安心して楽しんでもらえるよう心がけて日々頑張っています！

主なできごと

《2015年》

7月1日	第48回 開園記念日 動物慰霊祭	7月26日	飼育勉強会
3日	シマフクロウの展示再開	29日	教員のための博物館の日
11日	F.C.Manis主催 ボルネオのオラン ウータンへ“森をつくる贈り物”開催	8月1～3日	第40回 サマースクール
18日	夕暮れの動物園 撮影教室	8日	キョクイチロジより 氷のプレゼント
21日	チンパンジー「ブヨ」 おびひろ動物園に引っ越し	9日	自然観察会 「夏休みといえば昆虫採集」編 開催
22日	シロフクロウ おびひろ動物園より来園	9～15日	夜の動物園
24日	発砲スチロール協会より 氷のプレゼント	23日	シロフクロウ 死亡 アムールトラ「ザリア」寝室に隔離
25日	国昭建設より 氷のプレゼント	25日	飼育勉強会
		9月5日	アメリカよりイボイノシシ来園
		6日	台北市立動物園と覚書を締結
		14日	飼育勉強会

夜の動物園 報告

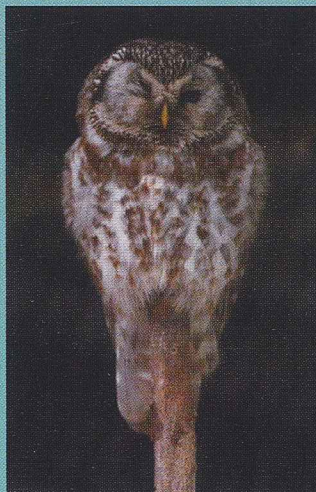
今年の「夜の動物園」は雨続きでした。天気予報を見ると、毎日のように雨マーク。午前中は快晴でも、午後になると突然雨が降り出す、そんな日が多かったです。雨になると、人間は気分もどんよりしてしまいますが、動物たちの中には雨が降ると元気になる動物もいます。そんな動物たちを探すのも、楽しいかもしれません。

夜の動物園の注目ポイントは、やはり「夜にしか見られない動物たちの姿」。活発な夜行性の動物たちや、昼行性の動物が寝ている姿を見ることができます。

冬の「雪明かりの動物園」でも夜の動物たちを見ていただけます。「夜の動物園」を見逃した方は、ぜひ「雪明かりの動物園」に!



夜の動物園限定
水中アザラシかみしばい



夜といえばフクロウ

編集後記

早いもので気がつけば、北海道の短い夏が終わりました。閉園期間を経て、すぐ冬期開園になりそうです。

「モユク☆カムイ」を再開して1年が経ちました。最初はこんなにたくさん印刷して、もらってくれる人がいるのだろうか…そんなことに悩んだ時もありました。そんな心配をよそに、多くの方に「モユク☆カムイ」を手にとっていただけている状況です。編集部は今、やる気に満ちあふれています! みなさんに動物園を好きになってもらい、自然を好きになってもらいたい。その一心でこれからも精一杯、号を重ねていきたいと思ひます。

(鈴木)

モユク・カムイ No.87 平成27年10月20日

●発行所／旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
●発行／坂東 元 ●表紙絵／中田 真一
●編集／丸 一喜・高橋 伸広・大内 章広・鈴木 悠太・奥山 英登
中村 亮平・佐賀 真一
●印刷／(株)須田製版
〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

飼育動物数

9月末現在

●哺乳類	46種・269点
●鳥類	64種・354点
●は虫類	5種・17点
●合計	115種・640点